



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.12 平成28年7月発行

〒020-0401

盛岡市手代森9-70-1

電話番号 019-696-2055

FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



院長
田嶋 宣行

夕方になると「さんさ踊り」の太鼓の音が遠くに響き、夏の到来を感じさせる時期となりました。関係機関の皆様におかれましてはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。また、常日頃から当院の運営に関しまして多大なご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

お陰さまをもちまして当院では平成28年3月より精神科救急病棟を、また、平成28年4月より平成28年度診療報酬改定で新設された地域移行機能強化病棟を開設することができました。運営の定常化を目指すべく職員一丸となって日々努力いたしております。

今回は救急病棟と地域移行機能強化病棟の現状、外来部門の取り組みをご紹介します。「救急病棟」は、48床で運用し1日平均47.6人の利用者数となっており、入院3カ月以内の地域移行率は60%以上を維持しています。入院後は多職種合同のパスカンファを開催、病状の改善や早期退院に向けた意見交換をしています。また、入院時、入院1カ月、2カ月、3カ月にはご家族を含めたパス面談を開催、治療状況や家族の現況、ニーズ等の情報交換をして早期社会復帰に向けた取り組みを行っております。また、「地域移行機能強化病棟（定床57床）」では、入院1年以上の長期入院患者さんの地域移行に向け、退院支援委員会を開催し、関係行政福祉機関の皆様にも参加して頂き貴重なご意見を伺う場となっております。病棟開設後順調に毎月1～3名の患者さんが地域移行できている状況ですが、地域移行の壁は厚く、四苦八苦しながらも退院に向けたあらゆる道筋を模索している現状です。さらなる関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

また、外来部門では、更なるディケアの充実のためうつ病、うつ状態の方の個別的面談により、職場復帰支援を重視した集団認知療法、SST、ジョブ・スキルトレーニング、個人作業等の「リワークプログラム」を開始いたしました。さらには平成28年7月より通院患者様の外来待ち時間の有効利用等を考慮して、「外来作業療法」を導入し、日々の生活の中に役立て充実した毎日を送っていただけるようなプログラムを準備いたしております。

関係機関の皆様からも多くの患者様をご紹介頂けるようになり、外来新患数も月50～60人となっております。より多くの患者さんが地域でいきいきと自分らしく生きけるよう、また、地域のニーズに対応できるよう、さらなる治療・支援プログラムの充実、治療環境の整備、関係機関の皆様との連携強化を図って参りたいと考えております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔を決やすことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊敬と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

日本精神科看護協会会長表彰の報告

この度当院古川厚看護部長が、日本精神科看護協会会長表彰を受けました。

6月10日から12日の3日間、盛岡市のマリオス・アイーナホールにて、「日本精神科看護協会学術集会in岩手」が行なわれ、全国10名の表彰者を代表して賞状・盾を受け取り長年の功労を讃えられました。

古川看護部長からの挨拶です。

このたび学術集会で会長表彰をいただきました。永年にわたり協会活動に尽力した功績にこのことですが、このような表彰は個人でいただけるものではありません。職場の風土や上司の理解、スタッフ皆様のご支援によるものと感謝しております。

岩手県支部で広報委員長、事務局長などを十数年させていただきましたが、気づけば十数年の月日が経っていたというのが実感です。日精看を通じて岩手県内外で精神科に勤務するたくさんの看護師のみなさんと知り合うことができたことは私にとって一番の宝物です。これからも変化・前進する精神科看護に乗り遅れないよう精進していきたいと思います。



～古川厚看護部長【写真右】～

トピックス

今回は、外来作業療法、デイケア(リワーク)、地域移行機能強化病棟、院内感染防止対策委員会を紹介します。

■外来作業療法について

7月1日より外来作業療法を開始しました。

実施日時は、月～金曜日

10:00～12:00です。

これまで入院患者様を対象としてきましたが、地域移行が進む中、退院者の増加や患者様の低年齢化等により、短時間活動から地域生活の支援を行うべく、外来作業療法の立ち上げとなりました。新たに退院後の支援が必要な患者様の作業療法を展開します。

小集団でゆったりとした雰囲気にくつろぎながら参加出来るよう、患者さんの特徴に合わせて活動を実施していきます。



月	火	水	木	金
やすらぎカフェ ・手工芸 ・読書 ・呼吸法、ヨガ ・手浴、足浴 ・マット体操	シーズンインザサン ・園芸 ・イベント活動 ・プチ行事 ・季節装飾	簡単クッキング ・B級グルメ ・健康メニュー	プロジェクト ・DIY ・PC ・インターネット ・楽器	コミュニティー スポーツ ・屋内雪合戦 ・卓球 ・バドミントン ・ウォークラリー
	やすらぎカフェ (サブ活動)	やすらぎカフェ (サブ活動)	やすらぎカフェ (サブ活動)	やすらぎカフェ (サブ活動)

※日程調整のため活動内容や曜日変更する場合があります。

■デイケア・リワークプログラムのご紹介

今年7月から拡充したデイケアのリワークプログラムを紹介します。

うつ病もしくはうつ状態の治療のために休職されている方を対象にしています。職場で仕事ができる程の病気の回復レベルは、仕事を休んでいる時に比べて、はるかに高く求められます。プログラムへの参加により、回復レベルを確認できたり、回復を促すことができます。

回復状況や業務内容に応じた個人作業では、仕事に必要な集中力やスキル等の再獲得を目指し、小集団で行うグループワークでは、コミュニケーションの練習や再発予防の理解を深めて行きます。

(月) (火) (木) 9時～15時に実施中です。

お問い合わせは、社会復帰支援室までお願いします。

■地域移行機能強化病棟のご紹介

当病棟は、男女混合病棟で定床57名(男性27名・女性30名)の患者様が入院加療されております。平成28年4月1日より「精神科療養病棟」から「地域移行機能強化病棟」へ移行しました。同病棟は、診療報酬改定により新設された病棟で、全国的に運用している病院は少なく、6月には福岡県の病院の方が見学にいらっしゃいました。

病棟スタッフ21名に加え、精神保健福祉士3名、作業療法士1名が専従となり、日々の多忙な業務の中、ほぼ毎日のように退院支援委員会を開催し、3か月が経ちました。開始当初は、どのように行うのか分からず、退院支援計画書作成等は精神保健福祉士に任せきりからスタートしました。月に1回の退院支援委員会は、主治医をはじめ、多職種で一喜一憂しながら退院へと進めていき、現在5名の患者様が退院されました。今後は、退院に不安を抱えている患者様に対して、関係機関の方々やピアスタッフなどにお話をして頂ける機会を設け、患者様が安心して社会で生活していけるよう多職種で支援していきたいと思います。まだまだ始まったばかりです。スタッフ一同協力し合い、退院支援を行っていききたいと思いますので、地域の皆様のご協力をお願いします。



～意欲喚起プログラムの様子～

■院内感染防止対策委員会～ICT(感染制御チーム)～

ICTは院内感染対策の専門チームです。

当院のICTは、入院中の患者様が感染症にかかることなく安心して疾病の治療に専念できるように、多職種のメンバーがそれぞれの専門的知識と経験を持ち寄って日々活動しています。

月1回のICTラウンドでは、手指衛生が適切になされているか？スタッフステーションや廊下・病室の環境は適切か？適切に医療廃棄物が分別されているか？などのチェックやベストプラクティス(最良の実践法)のチェックと指導を行います。手指衛生に関しては毎月アルコールの使用量の集計を行い目標量に達するよう発信し、また重大な感染症が発生したり、感染症患者が多発した場合には、速やかに現場に向かい現在の感染対策が適切なのかをチェックし適宜指導を行います。病棟のみならず各部署もラウンドし消毒液のチェックや流し台などの衛生指導も行っています。(その他にも感染対策活動を実践的に遂行しています。)

月1回実施している院内感染対策委員会では、ラウンドでの指摘事項を写真入りで報告し、具体的・実践的指導している根拠を示しています。

今後も精神科患者の院内感染に対する特殊性を踏まえつつ、日々の感染対策活動に努力してまいります。



～ラウンドの様子～

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間

平日：9:00～16:00

土曜：9:00～12:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室 外来師長 砂 とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<http://www.i-seiwa.com/chikiiryorenkei.html>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	菊地医師	八重樫医師	田嶋医師	佐々木医師 石川医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 八重樫医師
再診担当	菊地医師	田嶋医師 智田医師	佐々木医師 遠藤医師	智田医師	石川医師 八重樫医師	第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師

診療時間

月曜日～金曜日	9:00～17:00
土曜日	9:00～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<http://www.i-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又はバスセンター(構内3番)より乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発バスセンター(NANAK[旧中三]向)経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



車

- 盛岡駅から車で20分
(国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側)
- 東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
(県道36号・国道396号経由 同上)

※無料駐車場完備